

令和5年度
景況調査報告

令和6年2月

令和5年度景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	令和5年10月25日(水)から令和5年12月15日(金)
(2) 調査方法	訪問等によるアンケート調査
(3) 調査対象	市内100事業所 (工業25社、建設業25社、飲食・卸小売業26社、サービス業24社)
(4) 調査項目	令和5年(実績)、令和6年(見込み)決算期の業況・売上などの状況判断

産業別判断指数

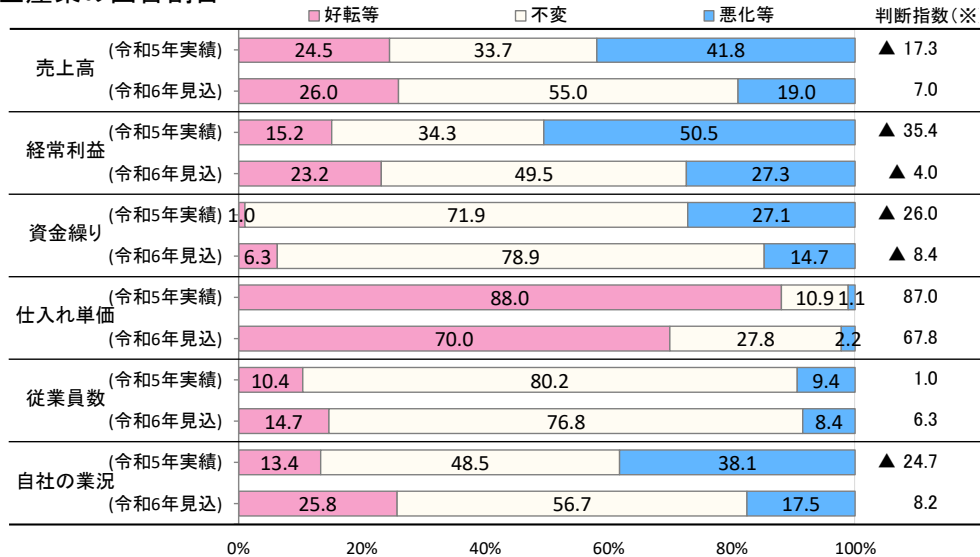
(1) 令和5年実績及び令和6年見込み(前年比)

	売上高 (増加割合-減少割合)		経常利益 (増加割合-減少割合)		資金繰り (好転割合-悪化割合)		仕入れ単価 (上昇割合-低下割合)		従業員数 (増加割合-減少割合)		業況 (好転割合-悪化割合)	
	令和5年 実績	令和6年 見込	令和5年 実績	令和6年 見込	令和5年 実績	令和6年 見込	令和5年 実績	令和6年 見込	令和5年 実績	令和6年 見込	令和5年 実績	令和6年 見込
全産業	▲17.3	7.0	▲35.4	▲4.0	▲26.0	▲8.4	87.0	67.8	1.0	6.3	▲24.7	8.2
工業	▲20.0	56.0	▲60.0	44.0	▲45.8	8.0	100.0	66.7	4.0	12.0	▲36.0	52.0
建設業	0.0	▲4.0	▲8.0	▲12.5	▲12.5	▲9.1	81.8	57.9	▲4.2	13.0	▲8.3	4.2
飲食/卸小売業	▲19.2	▲7.7	▲30.8	▲15.4	▲24.0	▲20.0	80.8	80.8	8.0	0.0	▲26.9	▲7.7
サービス業	▲30.4	▲16.7	▲43.5	▲33.3	▲21.7	▲13.0	85.0	61.9	▲4.5	0.0	▲27.3	▲18.2

※令和5年実績、令和6年見込みは、前年からの変化方向を示す。

※上記の指数は、各項目についての状況の判断を示す。プラス(「好転」超など)であれば、上向き傾向を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、下向き傾向を表す回答割合が多いことを示す。

(2) 全産業の回答割合

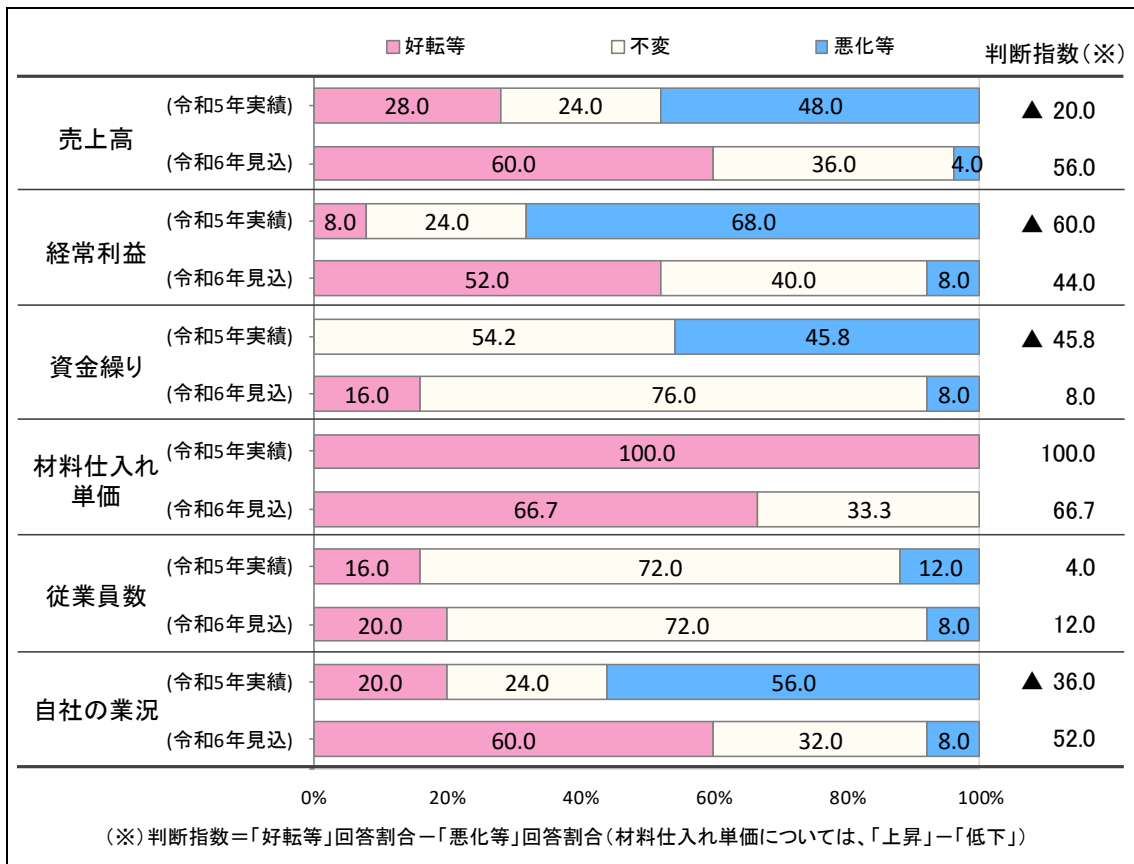


(※) 判断指数 = 「好転等」回答割合 - 「悪化等」回答割合 (材料仕入れ単価については、「上昇」-「低下」)

・結果に対するコメント

- ・市内企業の業況判断指数(前年比)は、令和5年実績は全産業で▲24.7と「悪化」超、令和6年見込みは8.2と、「好転」超に転じる見通し。
- ・業種別に見ると、全産業で業況が令和5年は「悪化」超となった。令和6年は工業、建設業が「好転」超に転じ、建設業・飲食・卸小売業では「悪化」超幅が縮小する見通し。
- ・項目別に見ると、令和5年実績で経常利益が▲35.4と「減少」超、資金繰りが▲26.0と「悪化」超。仕入れ単価は令和5年実績が87.0、令和6年見込みが67.8と大きく「上昇」超となってい

【 工 業 】



- ・工業の業況判断指数は、令和5年実績が▲36.0と「悪化」超、令和6年見込みは52.0と大きく「好転」超となる見通し。
- ・項目別では、判断指数が売上高、経常利益、資金繰りで令和5年実績はマイナスとなっており、厳しい状況がうかがえる。ただし、令和6年見込みでは、売上高、経常利益で半数以上が「増加する」と回答している。令和5年実績の材料仕入れ単価の判断指数は、100.0と全ての先が「上昇」と回答した。令和6年見込みも66.7だった。多数の事業者が仕入れ単価上昇が継続すると見込んでいる。

【 建設業 】

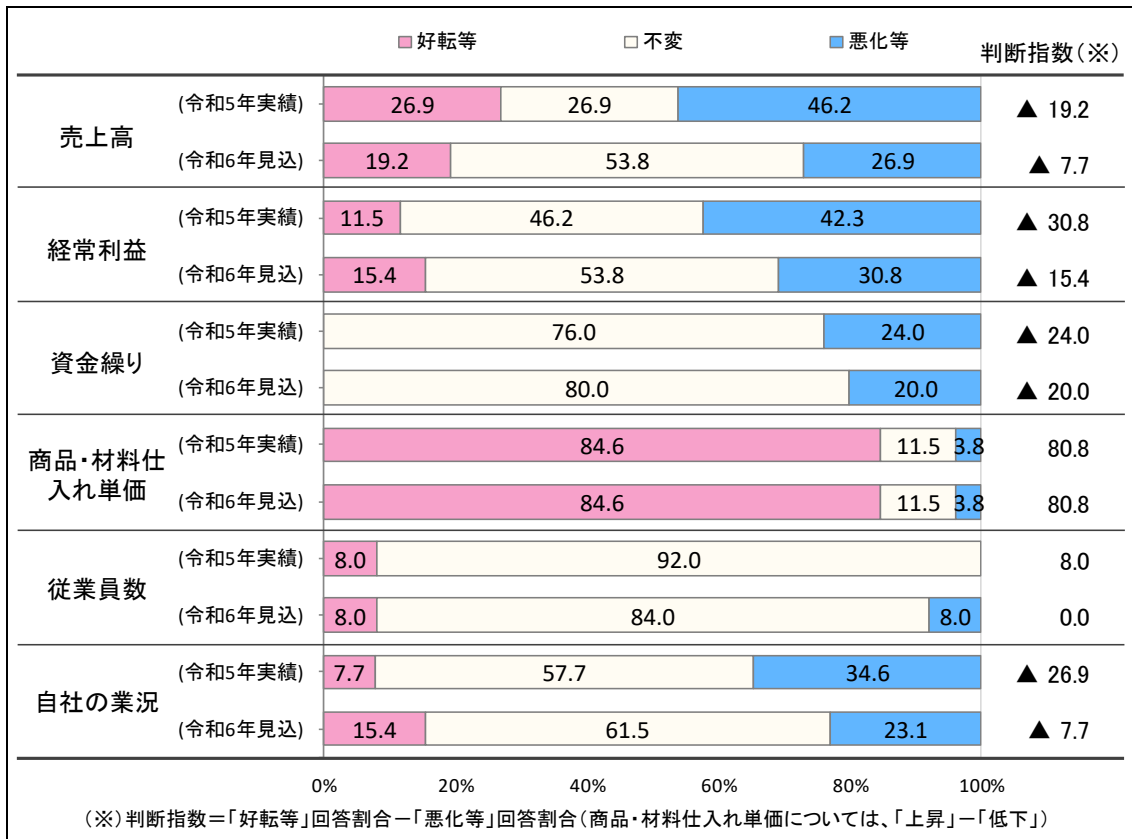
		■ 好転等	□ 不変	■ 悪化等	判断指数(※)
売上高	(令和5年実績)	29.2	41.7	29.2	0.0
	(令和6年見込)	12.0	72.0	16.0	▲ 4.0
経常利益	(令和5年実績)	28.0	36.0	36.0	▲ 8.0
	(令和6年見込)	12.5	62.5	25.0	▲ 12.5
資金繰り	(令和5年実績)	4.2	79.2	16.7	▲ 12.5
	(令和6年見込)	4.5	81.8	13.6	▲ 9.1
材料仕入れ 単価	(令和5年実績)	81.8		18.2	81.8
	(令和6年見込)	57.9		42.1	57.9
従業員数	(令和5年実績)	8.3	79.2	12.5	▲ 4.2
	(令和6年見込)	21.7	69.6	8.7	13.0
自社の業況	(令和5年実績)	16.7	58.3	25.0	▲ 8.3
	(令和6年見込)	12.5	79.2	8.3	4.2

0% 20% 40% 60% 80% 100%

(※) 判断指数＝「好転等」回答割合－「悪化等」回答割合(材料仕入れ単価については、「上昇」－「低下」)

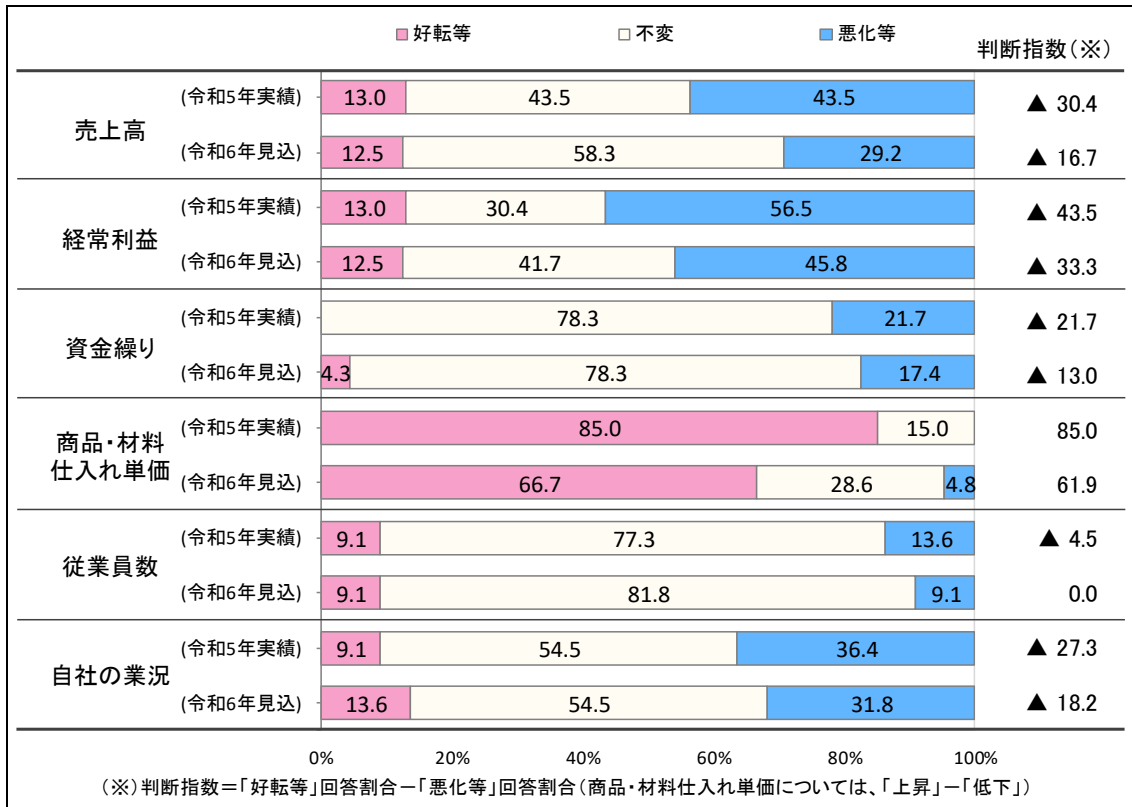
- ・ 建設業の業況判断指数は、令和5年実績で▲8.3と「悪化」超、令和6年見込みは4.2と「好転」超に転じる見通し。
- ・ 項目別の判断指数では、経常利益、資金繰りは令和5年実績・令和6年見込みとも「悪化」超、従業員数は令和5年実績「減少」超から令和6年見込で「増加」超に転じる見通し。材料仕入れ単価は実績・見込みともに大きく「上昇」超となっており、仕入れ単価の上昇が続く見通しであることがわかる。

【 飲食・卸小売業 】



- ・ 飲食・卸小売業の業況判断指数は、令和5年実績が▲26.9と「悪化」超、令和6年見込みは▲7.7と「悪化」超幅が縮小する見通し。
- ・ 項目別では売上高、経常利益、資金繰りで令和5年実績は「悪化」超となった。令和6年見込みは売上高、経常利益、資金繰りの「悪化」超幅は縮小する見通し。仕入れ単価が令和5年実績、令和6年見込みとも「上昇」超、依然見通しは厳しい状況。商品・材料の値上り感が強く、資金繰りや業況に影響が及んでいる様子がうかがえる。

【 サービス業 】



- ・ サービス業の業況判断指数は、令和 5 年実績が▲27.3、令和 6 年見込みは▲18.2 と「悪化」超幅が縮小するも、厳しい状況は続く見通し。
- ・ 項目別では売上高、経常利益は令和 5 年実績で半数程度が「悪化」と回答しており、判断指数も大きくマイナス。令和 6 年見込みでは売上高、経常利益は「悪化」超幅が縮小するも依然マイナス、資金繰りも実績・見込みとも厳しい状況が続く見通し。商品・材料仕入れ単価は、令和 5 年実績、令和 6 年見込みとも「上昇」超となっている。

【売上高の推移】

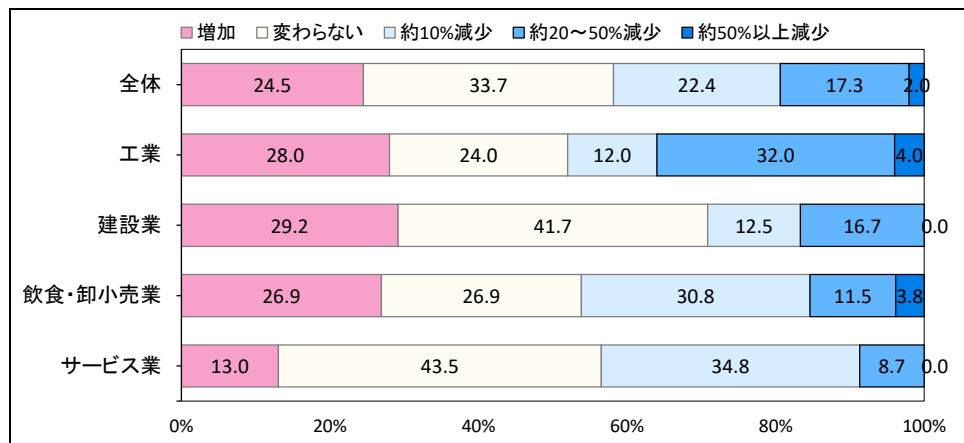
物価高・新型コロナウイルスの影響によって多くの企業で売上高の減少となった昨年調査に引き続き、令和5年の売上高実績について減少の程度も尋ねた。

全体では、売上高が「変わらない」が33.7%と最も多く、次いで「増加」が24.5%、「約10%減少」が22.4%だった。『減少』の回答は合わせて41.8%となっており、厳しい情勢がうかがえる。一方で、「増加」の回答は昨年から10.1ポイント上昇した。

業種別にみると、工業では、「約20～50%減少」が32.0%で最も大きく、他業種に比べ厳しい状況がうかがえる。一方で、工業、建設業、飲食・卸小売業では「増加」の回答が3割弱あった。特に建設業は、『減少』の回答が29.2%と最も小さい。

仕入れ価格が上昇傾向にあるなか、売上自体も落ち込んでいる事業者が半数弱あり、引き続き厳しい状況にあることがうかがえる。

●令和5年売上高の増減(業種別)



(単位: 件)

	全体	工業	建設業	飲食・卸小売業	サービス業
増加	24	7	7	7	3
変わらない	33	6	10	7	10
約10%減少	22	3	3	8	8
約20～50%減少	17	8	4	3	2
約50%以上減少	2	1	0	1	0
合計	98	25	24	26	23

【新型コロナウイルス、原油・原材料高の影響について】

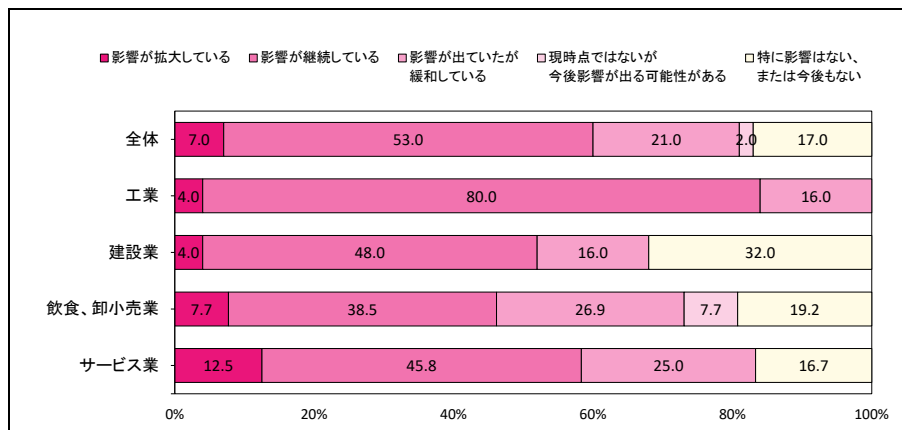
新型コロナウイルス、原油・原材料高の影響についてマイナスの影響が出ているかを尋ねたところ、「影響が継続している」が53.0%と最も多かった。「影響が拡大している」が7.0%で、継続・拡大が合わせて6割超を占めている。一方で「影響は出ていたが、緩和している」が21.0%だった。また、「特に影響はない、または今後もない」が17.0%だった。

業種別にみると、工業で「影響が拡大している」「影響が継続している」を合わせた割合が84.0%と他業種に比べ大きい。

具体的なマイナスの影響としては「仕入価格の高騰」が65.0%と最も多く、「製品・サービス等の受注の減少」が29.0%、「価格転嫁できていない」が26.0%、と続いた。

●新型コロナウイルス、原油・原材料高による影響（業種別）

	全体(n=100)		工業(n=25)		建設業(n=25)		飲食、卸小売業(n=26)		サービス業(n=24)		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
マイナスの影響	影響が拡大している	7	7.0	1	4.0	1	4.0	2	7.7	3	12.5
	影響が継続している	53	53.0	20	80.0	12	48.0	10	38.5	11	45.8
	影響が出ていたが緩和している	21	21.0	4	16.0	4	16.0	7	26.9	6	25.0
	現時点ではないが今後影響が出る可能性がある	2	2.0	-	-	-	-	2	7.7	-	-
	特に影響はない、または今後もない	17	17.0	-	-	8	32.0	5	19.2	4	16.7



●どのようなマイナスの影響が出たか（業種別）【複数回答】

		全体(n=100)		工業(n=25)		建設業(n=25)		飲食、卸小売業 (n=26)		サービス業(n=24)	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
具 体 的 な マ イ ナ ス の 影 響	仕入価格の高騰	65	65.0	19	76.0	15	60.0	19	73.1	12	50.0
	製品・サービス等の受注の減少	29	29.0	11	44.0	5	20.0	5	19.2	8	33.3
	価格転嫁できていない	26	26.0	7	28.0	4	16.0	5	19.2	10	41.7
	客数の減少	21	21.0	0	-	1	4.0	14	53.8	6	25.0
	人手不足	18	18.0	1	4.0	7	28.0	5	19.2	5	20.8
	商品・材料等の納期の遅れ	7	7.0	2	8.0	2	8.0	2	7.7	1	4.2
	人員削減を実施・検討中	2	2.0	2	8.0	0	-	0	-	0	-
	影響はない	13	13.0	0	-	5	20.0	2	7.7	6	25.0
	その他	4	4.0	1	4.0	2	8.0	1	3.8	0	-

【国県市の支援策について】

国県市の支援策について、利用済のもの、申請中のもの、利用希望のものを尋ねたところ、以下のような回答となった。

全体では「持続化補助金」が41.0%と最も多く、次いで「政府系金融機関のコロナウイルス感染症特別貸付」、「事業復活支援金」と続いている。

業種別でも、「持続化補助金」がいずれの業種でも回答割合が最も大きい。また、工業では「事業復活支援金」「ものづくり補助金」「IT導入補助金」の回答割合が比較的大きい。

●利用済、申請中、利用希望の支援策(業種別)【複数回答】

	全体(n=100)		工業(n=25)		建設業(n=25)		飲食、卸小売業 (n=26)		サービス業(n=24)		
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	
支 援 策	持続化補助金	41	41.0	12	48.0	7	28.0	12	46.2	10	41.7
	政府系金融機関のコロナウイルス感染症特別貸付	21	21.0	6	24.0	7	28.0	5	19.2	3	12.5
	事業復活支援金	20	20.0	15	60.0	-	-	1	3.8	4	16.7
	IT導入補助金	19	19.0	11	44.0	3	12.0	1	3.8	4	16.7
	ものづくり補助金	15	15.0	13	52.0	1	4.0	-	-	1	4.2
	県の感染防止対策協力金	11	11.0	5	20.0	1	4.0	4	15.4	1	4.2
	事業承継補助金	9	9.0	3	12.0	1	4.0	2	7.7	3	12.5
	事業再構築補助金	9	9.0	3	12.0	1	4.0	1	3.8	4	16.7
	民間金融機関によるセーフティネット保証4・5号付き融資	8	8.0	-	-	3	12.0	4	15.4	1	4.2

景況調査データ

単位:件

		令和5年実績						令和6年見込					
		売上高	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況	売上高	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況
全産業	好転・増加	24	15	1	81	10	13	26	23	6	63	14	25
	不変	33	34	69	10	77	47	55	49	75	25	73	55
	悪化・減少	41	50	26	1	9	37	19	27	14	2	8	17
	合計	98	99	96	92	96	97	100	99	95	90	95	97
工業	好転・増加	7	2	0	24	4	5	15	13	4	16	5	15
	不変	6	6	13	0	18	6	9	10	19	8	18	8
	悪化・減少	12	17	11	0	3	14	1	2	2	0	2	2
	合計	25	25	24	24	25	25	25	25	25	24	25	25
建設業	好転・増加	7	7	1	18	2	4	3	3	1	11	5	3
	不変	10	9	19	4	19	14	18	15	18	8	16	19
	悪化・減少	7	9	4	0	3	6	4	6	3	0	2	2
	合計	24	25	24	22	24	24	25	24	22	19	23	24
飲食・卸小売業	好転・増加	7	3	0	22	2	2	5	4	0	22	2	4
	不変	7	12	19	3	23	15	14	14	20	3	21	16
	悪化・減少	12	11	6	1	0	9	7	8	5	1	2	6
	合計	26	26	25	26	25	26	26	26	25	26	25	26
サービス業	好転・増加	3	3	0	17	2	2	3	3	1	14	2	3
	不変	10	7	18	3	17	12	14	10	18	6	18	12
	悪化・減少	10	13	5	0	3	8	7	11	4	1	2	7
	合計	23	23	23	20	22	22	24	24	23	21	22	22

単位: %、判断指数はポイント

		令和5年実績						令和6年見込					
		売上高	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況	売上高	経常利益	資金繰り	仕入れ単価	従業員数	業況
全産業	好転・増加	24.5	15.2	1.0	88.0	10.4	13.4	26.0	23.2	6.3	70.0	14.7	25.8
	不変	33.7	34.3	71.9	10.9	80.2	48.5	55.0	49.5	78.9	27.8	76.8	56.7
	悪化・減少	41.8	50.5	27.1	1.1	9.4	38.1	19.0	27.3	14.7	2.2	8.4	17.5
	判断指数	▲ 17.3	▲ 35.4	▲ 26.0	87.0	1.0	▲ 24.7	7.0	▲ 4.0	▲ 8.4	67.8	6.3	8.2
工業	好転・増加	28.0	8.0	0.0	100.0	16.0	20.0	60.0	52.0	16.0	66.7	20.0	60.0
	不変	24.0	24.0	54.2	0.0	72.0	24.0	36.0	40.0	76.0	33.3	72.0	32.0
	悪化・減少	48.0	68.0	45.8	0.0	12.0	56.0	4.0	8.0	8.0	0.0	8.0	8.0
	判断指数	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 45.8	100.0	4.0	▲ 36.0	56.0	44.0	8.0	66.7	12.0	52.0
建設業	好転・増加	29.2	28.0	4.2	81.8	8.3	16.7	12.0	12.5	4.5	57.9	21.7	12.5
	不変	41.7	36.0	79.2	18.2	79.2	58.3	72.0	62.5	81.8	42.1	69.6	79.2
	悪化・減少	29.2	36.0	16.7	0.0	12.5	25.0	16.0	25.0	13.6	0.0	8.7	8.3
	判断指数	0.0	▲ 8.0	▲ 12.5	81.8	▲ 4.2	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 12.5	▲ 9.1	57.9	13.0	4.2
飲食・卸小売業	好転・増加	26.9	11.5	0.0	84.6	8.0	7.7	19.2	15.4	0.0	84.6	8.0	15.4
	不変	26.9	46.2	76.0	11.5	92.0	57.7	53.8	53.8	80.0	11.5	84.0	61.5
	悪化・減少	46.2	42.3	24.0	3.8	0.0	34.6	26.9	30.8	20.0	3.8	8.0	23.1
	判断指数	▲ 19.2	▲ 30.8	▲ 24.0	80.8	8.0	▲ 26.9	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 20.0	80.8	0.0	▲ 7.7
サービス業	好転・増加	13.0	13.0	0.0	85.0	9.1	9.1	12.5	12.5	4.3	66.7	9.1	13.6
	不変	43.5	30.4	78.3	15.0	77.3	54.5	58.3	41.7	78.3	28.6	81.8	54.5
	悪化・減少	43.5	56.5	21.7	0.0	13.6	36.4	29.2	45.8	17.4	4.8	9.1	31.8
	判断指数	▲ 30.4	▲ 43.5	▲ 21.7	85.0	▲ 4.5	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 13.0	61.9	0.0	▲ 18.2